

すくも
宿毛市ってどんなところ？

宿毛市は温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、
一年を通してとても暮らしやすいところです。

道後水道に面した宿毛湾は、
魚のゆりかご・天然の養殖場と言われるほど魚種の豊富な海で、
ここで獲れる魚の味は絶品です。

また、温暖な気候を生かした露地栽培と施設園芸、
文旦等の果樹栽培が盛んです。

人口・・・19,706人（R3.5.1現在）

住まい・・・お試し住宅あり

教育施設数

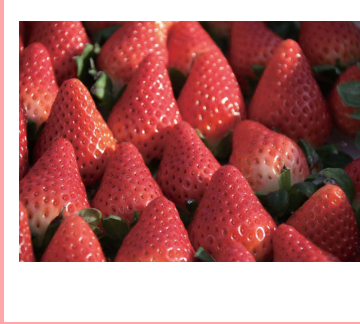
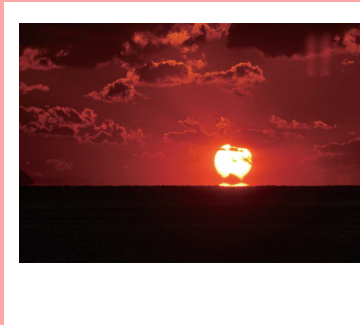
幼稚園・・・11

小学校・・・9

中学校・・・5

各種病院・診療所・・・14

0歳～中学校卒業まで医療費助成有り。



未来の
いちご農家
募集中



お問い合わせ先

宿毛市担い手育成総合支援協議会
(事務局：宿毛市産業振興課)

高知県宿毛市桜町2番1号

TEL：0880-63-1117

FAX：0880-63-2210

E-mail：sangyo@city.sukumo.jp

宿毛市に住むにあたっての相談にも全力で乗ります！精一杯
サポートさせていただきます！！

by サポートチーム一同

平成31年4月に宿毛市では初の農業公社を設立しました。
宿毛市の農業のため、新規就農者のための研修などを行なっています。
専用ホームページもありますので、ご確認ください。



宿毛市で未来のいちご農家を募集します!

求める人材

- ①宿毛市内に住んでいただける方
- ②農業に積極的に取り組む意欲のある方
- ③原則18歳～65歳まで
- ④当面の運転資金、設備資金の準備ができる方（500万円程度）



宿毛市のいちご

宿毛市のいちごは甘くて大きいのが特徴です。大阪を中心に県外に出荷しているほか、海外に輸出を行っており、国内外で根強い人気があります。



宿毛の風物詩「だるま夕日」のように真っ赤でまん丸な大粒いちごです。安定した収量と品質が期待できます。



甘くて大きくて食べ応え抜群。限られた産地でしか作られていない「幻のいちご」です。収量は少ないですが、高単価で省力化が期待されます。

宿毛支所苺部会

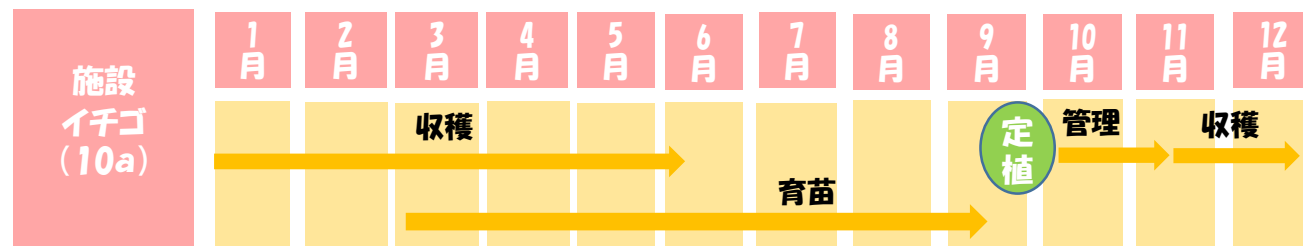
宿毛支所苺部会は昭和58年に発足し、長い歴史と伝統を持っています。

国内外からの品質への信頼も高く、一部は海外への輸出も行っています。

近年は受け入れ農家（指導農業士）や農業公社による研修や就農後の営農支援活動にも積極的に取り組んでいます。

いちご農家の1年 作業体系と経営モデル (労働力1人)

※就農5年後のモデルで、所得を保障するものではありません



品種	売上	経費	所得
さがほのか	451万円	201万円	250万円
おおきみ	460万円	200万円	260万円

先輩就農者の声

中田 康幸 さん

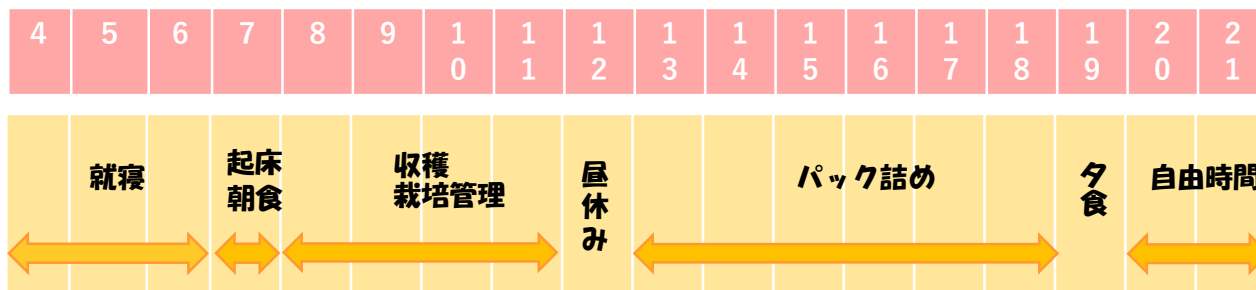
高知県宿毛市出身。

平成27年に就農し、現在はさがほのか

12aを栽培。



中田さんの1日 (12月)



就農までの流れ



支援体制

宿毛市では新規就農者の育成のため、農業公社（スタートアグリカルチャーすくも）を設立しています。

農業公社では、現場での農作業を通じて栽培技術を学ぶことができます。

未経験の方でも2年間の研修を通じてサポートしていきます。



JA高知県宿毛支所苺部会や関係機関（宿毛市、JA、高知県）が連携して全力で支援します！

- ・栽培技術
- ・設備導入資金の調達
- ・農地、ハウスの取得
- ・就農にあたっての補助金制度の活用
- ・移住、定住の相談

etc...

※参考※

平成27年度～令和2年度の新規就農者数：5人